

## 1. 令和6年度事業計画

ポストコロナの時代を迎え、世界経済の先行きは、中国の不動産市況の低迷による減速が長引くものの、見込まれる米国・欧州の金利引き下げによって持ち直し、緩やかな成長が続く見通しである。日本経済の先行きも、消費者物価の上昇鈍化と賃金の上昇継続による個人消費の拡大や、デジタル化の加速をはじめとする設備投資の拡大によって、緩やかな景気回復が続く見込みである。

国内賃金上昇の動きは大企業を中心に力強いものの、中小企業においては、コスト高を価格転嫁しきれていないこともあり、大幅な賃金上昇に耐えうる収益力は確保できていない。景気回復が地域経済に十分に波及するかどうかは、賃金上昇の動きが地域中小企業にも波及するかどうかにかかっており、地域中小企業の収益力改善に向けた成長・変革のための支援が強く求められている。

足元では、東北地方の人口減少が激しい速度で進んでおり、仙台市の生産年齢人口も既に減少局面に入っている。仙台市の若者の首都圏流出も依然として大きな課題である。長期的な視点からも、既存中小企業の成長・変革や、スタートアップの量的・質的向上を通じた、魅力ある雇用機会の創出による人口流出の抑制が必要不可欠である。また、人口減少・内需縮小を背景として、中小企業においても、海外販路の開拓による海外需要の取り込みが今後さらに重要となる。

全国的に中小企業は深刻な人手不足に直面しており、中でも東北地方においては、他の地域と比べても企業と労働者のミスマッチの度合いが大きい。地元中小企業が求める多様な人材の確保や育成のための支援が急務となっている。加えて、特に中小企業において遅れているデジタル化の促進による、省力化や生産性向上に向けた支援も引き続き必要である。

自然災害の発生や、国際紛争の頻発・長期化など、経済に対する不確定要素も依然として多い。今後も、社会経済状況が変化した際には、地元中小企業が変化に対応するための支援を迅速に展開していく。

以上を踏まえ、仙台市産業振興事業団は、仙台都市圏の中核的な中小企業支援機関の1つとして、仙台市との緊密な連携のもと、以下の4つの重点項目を中心として、地元中小企業や起業家等のニーズに合わせて、機動的かつ多様な支援を実施する。

- ▶ 地元中小企業に対する、地域の経済や雇用を支える高付加価値創出企業への成長・変革に向けた支援
- ▶ 国内・海外の販路開拓やデジタル化などの、経営戦略の高度化に向けた支援
- ▶ 地元中小企業が求める多様な人材の確保促進と、次代を担う中核人材の育成
- ▶ 「日本一起業しやすいまち」実現のための、起業のすそ野を広げ、かつ起業後の事業継続性も高める支援

## 中小企業支援事業

### (1) 成長企業支援事業

新商品や新サービスの開発を目指す中小企業に対して複数の専門家による集中的な支援等を行う。これにより、経営環境の変化を乗り越え既存のビジネス手法の変更や改善に果敢に挑戦しようとする成長意欲の高い事業者を支援し、事業活動の高付加価値化を促進する。

### (2) 販路開拓支援事業

東北の地域性を生かした新しいみやげを表彰する「新東北みやげコンテスト」を実施し、商談会や販売会の開催、広報媒体への露出により、商品の知名度向上や販売促進を図る。

また、販路開拓コーディネーターを配置して、オンライン商談カタログのシステムを活用しながら、地域中小企業とバイヤーとの取引機会の提供を行うほか、ウェブメディア「暮らす仙台」を通じて、商品やサービスの認知度向上を図る。加えて、業種を越えた複数の関係機関が強みを活かして連携を行う販路開拓エコシステムを構築して首都圏での展示会出展支援等を行う。

さらに、海外展開に挑戦し持続的な成長を目指す中小企業に対して、海外で開催される展示会への出展やテストマーケティング等の支援を行う。

### (3) 中小企業変革応援事業

地元中小企業の持続的発展に寄与するため、仙台市中小企業応援窓口において、多様な専門家による相談対応とビジネスマインドを高めるセミナーを実施して、新事業展開や商品開発、市場開拓等、中小企業の変革と成長をワンストップで支援する。

### (4) IT 活用推進事業

経営戦略として業務のデジタル化やテレワーク等を進める事業者を支援するため、セミナー開催や専門家による支援を行う。

また、地域の IT 業界団体と連携してきたシステムエンジニア向け研修により、新人から若手、中堅エンジニアの階層別教育の質を高め、地域 IT 企業の成長及び IT エンジニア人材を育成する。

### (5) 起業支援事業

アシ☆スタ交流サロンを拠点として、オンラインとオフラインによる起業家セミナー等を開催し、起業意欲の向上や経営ノウハウの習得、人的ネットワークの構築を支援する。

起業家への相談対応については、アシ☆スタの専門家のみならず、創業支援ネットワークに所属する関係機関や団体と協力し、利用者の状況に則した助言を行う。

また、アシ☆スタを利用し、起業した方等を対象に、仙台地域の起業・スタートアップ支援機関や先輩起業家と連携し、ビジネスモデル、ファイナンス、プロモーション、起業家交流をテーマとし、事業者同士の経験を共有する交流学習の機会を提供するアシ☆スタ・ビジネススクールを実施することで、事業の継続と発展の支援に取り組む。

さらに、仙台市内における起業のより一層の支援を行うため、アシ☆スタ交流サロン内に設置した国家戦略特区「仙台市開業ワンストップセンター」を継続し、会社設立等、事業開始時に必要な各種申請手続きについて、オンラインを活用することで、開業時の負担を軽減しつつ、仙台地域外国人の起業促進にも取り組む。

3月14日開設の「仙台スタートアップスタジオ」と連携し、役割分担を行いながら次世代のスタートアップを後押しして行く。

## (6) ウェルビーイング産業創出促進事業

### ①国際展開支援事業

高齢化の進行と共にヘルスケアへの関心が高まっているタイ・台湾等のアジア諸国における現地市場調査や展示会出展等を通じて、地元中小企業のビジネス展開を支援する。また、EU-仙台のゲートウェイとして、フィンランド政府関係団体・大学・各自治体の産業支援機関と連携を推進するとともに、県内の主要機関とも綿密な連携を図り、地元中小企業の国際化を促進する。

オウル市と締結した産業振興に関する協力協定に関しては、令和7年度までの有効期間を踏まえ、広く両地域企業等の交流・提携を促進するための取り組みを継続して行う。

### ②ウェルビーイングテック推進事業

ウェルビーイング・ヘルスケア分野の課題に対して、ICT技術等を用いて解決を図るソリューションビジネスの開発及び事業化に向けた実証支援を通じて、中小企業における新規事業の創出及びヘルスケア産業の活性化を促進する。また、海外展開枠を設けることで、海外展開に取り組む中小企業の裾野拡大を図るとともに、地元中小企業の国際化を支援する。

さらに、開発支援した商品・サービスについては展示会への出展を通じて、全国へ向けた情報発信・販路開拓を推進する。

## (7) 雇用支援事業

多様な人材採用を支援することを目的に、個別企業への採用コンサルティング、採用関連セミナー、海外UIJ人材に対する企業説明会を実施する。また、企業や地域の人材定着を促進する取り組みとして現場での実践を交えた中核人材育成プロ

グラム、組織開発プログラム、グローバル人材育成支援を展開する。

#### (8) 御用聞き型企業訪問事業

イノベーションに向けチャレンジするものづくり企業に対し、仙台市の地域企業課題解決マイスターと企業に直接出向き、技術的な課題の発掘から開発に向けた助言・指導を行う。

また、各事業分野において事業改善等のヒントになり得るテーマや次世代放射光施設などの先端技術の紹介等について、高度な知見を有する大学教授等を講師とするセミナー「寺子屋せんだい」を開催するとともに、個別の技術的課題解決に向けた産学連携専門家派遣事業を実施する。

#### (9) 東北地域ものづくり企業連携事業

県域を越えた広域連携による科学技術・イノベーションへの連携を行い、ポストコロナを踏まえた支援機関交流を通じて、シナジー効果発揮によるものづくり中小企業間のマッチングを一段と促進する。また、次世代放射光施設ナノテラスのPRを目的として、東北6県等の産業支援機関を本市に招請し、連携会合（都市交流）を開催する。

#### (10) 施設管理運営事業

仙台市中小企業活性化センターで実施される各種イベントの円滑な運営等に資するため、経年劣化が懸念される設備等を中心とした計画的な修繕、定期的な清掃そして、各種災害に備えた体制（事後の中小企業緊急相談窓口の開設等も含む）を整備し、安心安全な施設の管理運営を行う。

また、同センターが、中小企業の活性化の拠点施設としての機能を十分に果たせるように以下の事業を実施する。

- ①中小企業者等の経営の高度化，販路の拡大，技術の向上及び資金調達の円滑化を図ることにより経営基盤の強化の促進に関する事業
- ②中小企業者等相互間又は中小企業者等と中小企業振興団体，金融機関，若しくは大学等との間での連携及び協力の推進に関する事業